

グローバル人材育成推進事業 審査結果表

大 学 名	北海道大学
申 請 区 分	タイプA
〔評価コメント〕	
<p>本構想は、「新渡戸カレッジ」において「新渡戸ネット」を活用し、フィールド型演習を取り入れる等、全体的に挑戦的な取り組みである。全学的な教学マネジメントのもとで単位制度の実質化を図り、学士課程教育の質的向上に取り組んでいる。具体的にイメージしやすく、目標設定及び各プログラムの内容が非常に入念に練り上げられ、実現可能性において説得的であり、養成しようとする人材像に大学の長が反映されている。教育の質保証、修了要件の明確化、目標数値等、現実味が感じられる。学生の英語力を毎年調査し、学生の実態をベースに高い目標を掲げながら、いくつかのレベル分けを行うというグローバル人材のレベル分けを構想した興味深い構想である。同窓会（産業界）との連携を人材育成に組み込むという方法も優れた取り組みである。他大学をリードするだけでなく、札幌市内、北海道内の諸大学の学生に対する開放性を持っている優れた取り組みが構想されている。</p> <p>しかしながら、「新渡戸カレッジ」の選抜方法は主に英語であるが、グローバル人材の育成目標はより多面的であるので、選考方法の妥当性に疑問があるように思われる。また、危機管理に関しても具体的施策が記載されている（JCSOSとの連携強化）が、外部に依存するだけでなく、大学内での危機管理体制の強化に関して検討が望まれる。</p> <p>最後に、今回「グローバル人材育成推進事業」に採択された貴学におかれては、20年、30年後の「日本」を見据え、国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にす国になるための礎となる「グローバル人材」の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。</p>	